

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	通信会社（店長）	・新入学を控え、ライバル店にはないイベントをしている。
		商店街（代表者）	・昨年12月の調査によると、空き店舗率が減少している。新規オープンのお店や工事中の店もあり、新しい魅力的な店が増加し、来客数も増加している。
		家電量販店（営業担当）	・新社会人、新入学などの動きが良くなっており、若年層を含めた需要の伸びに期待できる。
		乗用車販売店（従業員）	・3月の企業決算期を迎え、販売促進に力を入れている。3月は代替対象ユーザーも多く、新車の販売量が多く望める時期であり、新型車もそろい、客の要望にこたえる体制ができています。
		乗用車販売店（従業員）	・決算期であることと、他社も新型車がでてきていることから、客が動く。
		観光型旅館（経営者）	・2、3か月先の予約状況が少し良くなってきている。客の利用内容や業界の催物などの料金も、それに応じた料金になってきており、景気の良い企業が、接待などをする傾向がでてきている。
		旅行代理店（従業員）	・テレビで旅番組が多く、旅行に行きたいという気持ちを刺激しており、行楽シーズンを迎え人の動きは活発になる。特にシルバー層のニーズは高く、来店客も多い。
		タクシー運転手	・異動の時期でもあり、夜の人の動きもでてくる。また、四国八十八カ所参りが本格的に来月ぐらいから始まるため、売上が増加する。
		通信会社（営業担当）	・新生活、新商品、新店舗の開設などにより、新たな需要が見込める。
		ゴルフ場（従業員）	・暖かくなることもあるが、客の予約状況や様子をみると、客が入っている状況であり、単価は落ちるが、来場者は増加する。
設計事務所（所長）	・中断していた計画が、再度復活してきた物件が幾つかある。		
変わらない	変わらない	一般小売店〔生花〕（経営者）	・3～5月は、年間でも売上が増加する時期であるが、昔ほどの伸び率は期待できない。
		百貨店（総務担当）	・ミセスを中心に春物の動が良くなり、全体的に買物に慎重な姿勢に変化はない。
		百貨店（営業担当）	・ブランド群でも好調、不調の差が大きくなっている。また、前年と比べると、衣料品、特に高額品の買い渋りが見られる。
		百貨店（営業担当）	・個人消費は、二分化している傾向が続いており、底辺の拡大も難しいため、厳しい状況が続く。
		スーパー（財務担当）	・寒波の影響で野菜不足と高値が続いていたが、徐々に解消されており、今後の売上に期待ができる。
		スーパー（統括担当）	・来客数は前年並みであるが、単価が95%程度となっており、かなり厳しい状況が続いている。
		衣料品専門店（経営者）	・寒波による防寒衣料の売上増は、シーズンを終わってみれば一時的なもので、また、店ごとにばらつきもあるため、客の購買意欲は高まっているとは思えない。
		乗用車販売店（管理担当）	・百貨店の人の話では、防寒の洋服は売れたが、それ以外の商品の売行きは良くなり、また、金融関係の人の話では、香川県内の景気は、上向きの傾向は感じられないということである。
		観光名所（職員）	・建物の改修工事を行っており、入場者数が増加していない。
		住宅販売会社（従業員）	・銀行などの金利キャンペーン期間が終了予定であり、これらが継続されない場合は、客足が鈍る。
やや悪くなる	やや悪くなる	商店街（代表者）	・大型スーパーの跡地利用が決まらない上に、店内にあった映画館2館も閉鎖され、先行きの予測が困難である。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	・今年の冬のように、気候による影響を強く受けることもあり、地方都市圏の料飲街の景気回復には、まだ相当な時間が必要である。
		乗用車販売店（従業員）	・石油関連の商品（軽油 灯油 塗料等）の値上げが相次いでおり、経費の増加による、今後の収益への影響が懸念される。
悪くなる	悪くなる	スーパー（店長）	・相場が上昇しないのに加えて、競合店の出店が続く、客が分散するため、販売価格が上昇せず、デフレ傾向が続く。

企業 動向 関連	良くなる	パルプ・紙・紙加工品 製造業（経営者）	・今後、ギフト商品の受注が多くなる季節ということもあり、受注量が増加する。
	やや良くなる	繊維工業（経営者）	・消費者の求める物が、安価な物から高品質な物に変化をしている。その需要にこたえれば、販売の増加につながる。
		化学工業（営業所長）	・受注量や販売価格に大きな変化はないが、注文になる前の引き合いの件数が増加し、数量も大きくなってきており、成約率も上がってきている。
		広告代理店（経営者）	・首都圏での受注について、見通しが立ち始めている。特に、広報関係、フリーペーパーなどは引き合いが多く、新たな受注も見込める。
	変わらない	食料品製造業（従業員）	・今回の新商品の売行きにかかっている。
		一般機械器具製造業 （経理担当）	・大型クレーンが好調な一方で、小型クレーンについては、トラック登録台数が前年比で減少しており、今後この影響が徐々に販売台数に出てくるため、全体的には横ばいである。
		電気機械器具製造業 （経営者）	・年度末にかけて、多くの引き合いや、見積もり、提案書が出ているが、今のところ、小型の物件であり、大型の設備は手控えられている。
		金融業（融資担当）	・公共工事の減少基調が続くため、取引先の建設土木業者は、苦しい状況が続く。また、雇用・所得環境の低迷から、早急な改善は期待できない。
		広告代理店（経営者）	・地元得意先の規模の縮小などにより、広告市場が縮小し、価格競争も厳しい状況である一方で、広告予算が見込める、特定の得意先に対する依存度が高くなってきており、結果として変わらない状況である。
	やや悪くなる	一般機械器具製造業 （経理担当）	・期末から来期にかけては、部材価格の高騰によるユーザーへの価格転嫁の動きが活発となり、受注は一時的に停滞する。その分、機能面とアフターサービスの優劣が、今後の当面の課題である。
輸送業（支店長）		・大口荷主が、物流拠点を四国から関西へシフトすることが決定したため、売上、量共に減少する。	
悪くなる	建設業（総務担当）	・公共工事は土木、建築とも全く期待できず、民間工事で穴埋めするのは難しい。	
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（支店長）	・最近、派遣の依頼件数が非常に増加している。以前に比べると、求職・求人数共に増加しているため、少しずつ良くなってきている。
		人材派遣会社（支店長）	・営業や販売職を長期的に募集する企業が多い。
		求人情報誌製作会社 （従業員）	・新卒の入社後の時期になるため、正社員ではないパートなどの雇用に関して活発な動きが出てくる。
		職業安定所（職員）	・前年比で、就職者数が4割強増加している。
		職業安定所（職員）	・新規求人数が3か月連続で増加している。また、産業別では、建設業、運輸業が持ち直してきている。
	変わらない	人材派遣会社（支店長）	・求人数は手堅いが、派遣登録者が伸び悩んでおり、なかなか契約に結びついていかない。
		職業安定所（職員）	・新規求職者数は、事業主都合による離職者、自己都合離職者、在職者が増加した。また、パート求人増加に伴い、主婦層を中心としたパート求職者も大幅に増加したため、前年同月と比べて増加に転じた。
		民間職業紹介機関（所長）	・登録者募集のため、広報活動の範囲を広げているが、登録者数増の兆候が見えてこない。
	やや悪くなる	-	-
悪くなる	-	-	